

第 67 期

株 主 通 信

（ 2019年 9 月 1 日から ）
（ 2020年 2 月 29 日まで ）

暁飯島工業株式会社

2020年5月

株主の皆様へ

暁飯島工業株式会社

代表取締役社長 植田俊二

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第67期上半期（2019年9月1日から2020年2月29日まで）の営業の概況等をご報告申し上げます。

営業の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、様々な国内政策を背景に、企業収益、雇用環境及び個人消費も底堅く推移するなど緩やかな景気の回復基調で推移いたしました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、インバウンドの激減等で短期的な悪影響は避けられないと予想されます。また、米中の貿易と投資をめぐる緊張状態の見通しが不確実性を増しており、世界全体で景況感が悪化して経済活動が更に弱まる先行きが予想されております。

建設業界におきましては、政府建設投資及び民間建設投資は一定の水準を維持しておりますが、慢性的な技術労働者不足と建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇により受注競争が激化し、依然として厳しい経営環境が続いております。また、長時間労働等、働き方改革及び生産性向上への取り組みは業界全体での課題となっております。

このような状況のもと、当社は引き続き工事利益率及び営業利益率の向上を目標に、受注時採算性の強化、原価管理及び施工管理の徹底、諸経費削減などの諸施策を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、受注高は前年同四半期比31.7%増加の39億30百万円となり、売上高も前年同四半期比22.8%増加の46億48百万円となりました。

損益面におきましては、売上高の増加及び工事利益率の向上などから、営業利益は前年同四半期比51.1%増加の5億61百万円、経常利益も同じく52.0%増加の5億68百万円となりました。最終損益につきましても、投資有価証券等の評価損（特別損失）が発生したものの、前年同四半期比27.7%増加の3億28百万円の四半期純利益となりました。

通期の見通しにつきましては、売上高80億円、営業利益9億円、経常利益9億円、当期純利益5億50百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会 社 の 概 況 (2020年2月29日現在)

会 社 名	暁飯島工業株式会社 (英文名称 AKATSUKI EAZIMA CO., LTD.)
設 立	1953年(昭和28年)9月16日
資 本 金	1,408,600,000円
従 業 員 数	116名
主要な事業内容	① 空気調和、衛生給排水、恒温恒湿、冷凍冷蔵、厨房等建築設備の設計・施工 ② リニューアル工事の調査・設計・施工、ビルの総合診断(建築、設備、電気) ③ 各種建築設備の保守・点検、定期点検及び常駐メンテナンスサービス ④ 太陽光発電、不動産の売買・賃貸
主要な営業所	本 社：茨城県水戸市 東京支店：東京都台東区 つくば支店：茨城県つくば市

取締役及び監査役 (2020年2月29日現在)

取締役会長	荻 津 仁 彦
代表取締役社長	植 田 俊 二
取 締 役	吉 田 孝 夫
取 締 役	白 石 学
取 締 役	長 野 正 紀
常 勤 監 査 役	大 森 健 雄
監 査 役	根 本 幸 司
監 査 役	春 日 均

(注) 取締役長野正紀氏は社外取締役、監査役根本幸司氏及び春日均氏は社外監査役であります。

四半期財務諸表

四半期貸借対照表 (2020年2月29日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	6,207	流 動 負 債	3,660
現金預金	3,870	支払手形・工事未払金等	2,362
受取手形・完成工事未収入金等	1,797	短期借入金	80
有 価 証 券	42	一年内返済予定の長期借入金	267
未成工事支出金	170	一年内償還予定の社債	90
そ の 他	351	未払法人税等	192
貸倒引当金	△ 24	未成工事受入金	542
固 定 資 産	3,117	完成工事補償引当金	7
有形固定資産	2,703	賞与引当金	79
建物・構築物	460	そ の 他	38
機械及び装置	372	固 定 負 債	847
土 地	1,866	社 債	140
そ の 他	4	長期借入金	612
無形固定資産	17	退職給付引当金	91
投資その他の資産	396	そ の 他	2
投資有価証券	290	負 債 合 計	4,508
繰延税金資産	45	(純 資 産 の 部)	
そ の 他	131	株 主 資 本	4,819
貸倒引当金	△ 69	資 本 金	1,408
資 産 合 計	9,324	資 本 剰 余 金	26
		利 益 剰 余 金	3,530
		自 己 株 式	△ 145
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 2
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 2
		純 資 産 合 計	4,816
		負 債 純 資 産 合 計	9,324

四半期損益計算書 (2019年9月1日から2020年2月29日まで)
(単位: 百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		4,648
売 上 原 価		3,846
売 上 総 利 益		801
販売費及び一般管理費		240
営 業 利 益		561
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	1	
受 取 配 当 金	3	
投資有価証券売却益	1	
投資有価証券償還益	4	
仕 入 割 引	0	
受 取 地 代 家 賃	4	
貸倒引当金戻入額	4	
そ の 他	3	23
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	9	
有価証券評価損	1	
投資有価証券売却損	3	
そ の 他	1	15
経 常 利 益		568
特 別 利 益		
有形固定資産売却益	0	0
特 別 損 失		
有形固定資産除却損	0	
投資有価証券評価損	62	
会 員 権 評 価 損	1	64
税引前四半期純利益		504
法人税、住民税及び事業税	179	
法 人 税 等 調 整 額	△ 2	176
四 半 期 純 利 益		328

四半期キャッシュ・フロー計算書 (2019年9月1日から2020年2月29日まで)
(単位: 百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	25
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	126
現金及び現金同等物の期首残高	3,731
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,857

受注及び売上の状況

受注実績（累計）

（単位：百万円）

区 分	2019年9月1日から2020年2月29日まで	
	金 額	構 成 比
設 備 事 業		%
建築設備工事	2,294	58.4
リニューアル工事	1,566	39.8
土木工事	—	—
プラント工事	—	—
ビルケア工事	69	1.8
設備事業合計	3,930	100.0

（注） 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

売上実績（累計）

（単位：百万円）

区 分	2019年9月1日から2020年2月29日まで	
	金 額	構 成 比
設 備 事 業		%
建築設備工事	2,174	46.8
リニューアル工事	2,234	48.0
土木工事	—	—
プラント工事	—	—
ビルケア工事	180	3.9
設備事業合計	4,588	98.7
その他の事業		
太陽光発電事業	59	1.3
不動産事業	0	0.0
その他の事業合計	60	1.3
合 計	4,648	100.0

（注） 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

株 主 メ モ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月中
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
〔郵便物送付先〕	〒168-8620
〔お問合せ先〕	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎ 0120-707-843
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載ホームページアドレス (http://www.eazima.co.jp/)

各種手続のお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続き用紙のご請求はインターネットでもお受けいたしております。

ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

